

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ	
-----------	--

② 施設・事業所情報

名称：グローバルキッズ日吉園	種別：認可保育所
代表者氏名：金子 由理	定員（利用人数）： 69名（利用者:69名）
所在地：〒223-0061 横浜市港北区日吉1-10-26	
TEL：045-562-0321	ホームページ：://www.gkids.co.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2010年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社グローバルキッズ	
職員数	常勤職員：19名 非常勤職員：5名
専門職員	（専門職の名称） 名
	園長：1名 保育士：17名
	主任：1名 栄養士：2名
	看護師：1名 保育補助：2名
施設・設備の概要	（居室数） （設備等）
	保育室：3室 園庭：有
	トイレ：3箇所
	調理室：1室
	事務室：1室
	休憩室：1室 調乳室：1室

③ 理念・基本方針

【企業理念】	子ども達の未来のために
【保育理念】	豊かに「生きる力」を育てる
【保育目標】	目的を持って自主的に行動できる子 安心して自分を表現できる肯定感あふれた子
【保育方針】	達成感を味わえる環境を整え、チャレンジを認め、見守っていく 愛情を持って一人ひとりの個性を受け入れる

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【日吉園での保育とは】
子ども一人ひとりの生活リズムを大切にし、ありのままの自分でいられるようにお家にいるようなゆったりとした時間を過ごします。園の行事は、年長さんを中心に子どもミーティングを行い内容を自分たちで決めて行います。
【異年齢保育】
園では2～5歳児までは一緒のお部屋で生活する異年齢保育を行います。年下児にと

っては、一緒に過ごすことで年上の子に憧れ、「やってみよう！」と自らチャレンジする気持ちが生まれます。年上児にとっては年下の子に対して思いやりやお世話をすることが自然と日々の生活の中で培われます。

【外遊び】

天気の良い日は毎日公園に行きます。子どもたちのチャレンジする気持ちを大切に、日吉園では遊びに禁止はありません。やってみよう！と自分で決めること。まだ無理だとストップすることも大切でのちに自分のことは自分で決めることができる肯定感にあふれた子に成長します。

【ランチルーム】

ランチの時間は3.4.5歳児を中心にランチルームの好きな場所で食事をします。遊びの続きでお友達と同じテーブルでワイワイお話ししながら食事をします。コロナが終息すれば以前のようにバイキングスタイルで自分の食事の準備をしたいと思います。栽培活動で育てた野菜を調理して、昼食やおやつで食すること食育にも繋がります。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年5月23日（契約日）～ 令和5年2月20日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2019年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1) 異年齢の関わりにより、成長し合える保育環境があります

園では、2歳児から5歳児の一貫した異年齢保育を行っています。同じ保育環境のもと関わる場面も多く、年下の子は年上の子の言動を真似、年上の子は、年下の子のお世話をしたり、お手本になるようにふるまうなどお互いに良い影響が生まれ、兄弟姉妹のような関わりが見られます。0歳児、1歳児の活動は基本的にはクラス単位ですが、昼食は、ホールをランチルームとし、1歳～5歳児と一緒に食べています。一つのテーブルに異年齢の子どもが集まったり、仲の良い子ども同士で食べる姿も見られます。食事のなかでも、箸の使い方、食事の進め方、食べ方、食器の持ち方を学んでいます。制作に使うはさみも年上の子の様子を見て2歳児から自主的に挑戦できるようにしています。傍で見守る年上の子は手助けをし、年下の子ができるようになれば、今度は自分が年下の子にやってあげる環境があり、保育方針の「達成感を味わえる環境を整え、チャレンジを認め、見守っていく」が実践されています。

2) 園と保護者の連携により園活動を支援しています

「園庭改造プロジェクト」の一環として、職員・保護者が設計段階から一緒に検討し、創りあげたワークショップ「ひみつ基地作り」を実施しています。保護者も積極的に保育園運営に参画し、地域の大工さんの協力も得て完成させています。完成した「ひみつ基地」は子どもたちの大好きな遊びの環境となっており、探索活動、ごっこ遊びへの展開など子どもの豊かな活動に繋がっています。子どもの成長を共に喜び、同じ目標に向かって園と保護者とが連携して子どもの育ちを支援しています。

3) 保育記録「日吉園ノート」によって保育実践に役立てています

園長は、通常の保育のなかで、子どもが一日を楽しく過ごせたと思える園環境について常に追求しています。一貫した異年齢保育での成果や参考になる事例、園長の思いなどを自身の「日吉園ノート」にまとめあげています。2010年の開園当初から長き

にわたる園の保育記録でもあり、マニュアルでもあるこのノートは、機会あるごとに園の保育に対する考え方・心得として職員に伝え、園の歴史と共に積み上げられ、実践の場で活用されています。

4) ICTシステムへのセキュリティ対策が望まれます

ICTシステムの導入により、職員の業務軽減も進んでいますが、一方で園情報の漏洩、ウイルス対策やサーバーの管理などのリスクも考えられます。現在、法人中心に管理されていますが、園独自においても業務効率化に伴う徹底した情報セキュリティ対策の構築が期待されます。

5) 多様化に伴う均衡性ある就業体制が期待されます

人材確保・人材配置として多様な就業形態を取り入れていますが、一方で業務の均衡性が難しい現況だとしています。今後は、働き方などの多様化に伴う就業体制の再構築が期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園して13年が経ちました。2023年度は早いもので14年目に入ります。今回4度目の第三者評価を受けさせていただくことになりました。毎回共通評価の内容には頭を悩ませますが、ご丁寧にアドバイスをいただきながら職員全員で取り組みました。保育分野は得意ですが、事業計画や中長期ビジョンなど運営面での共通理解の場がなかなか持てないので、時間を作って伝えていく必要があると感じました。保育内容に関しては新しい職員も含め、日々子ども達の学びや成長に関してよく話し合いをしています。他のクラスのドキュメンテーションを見ながらクラスを超えて全員で保育するスタイルが浸透していると感じています。コロナ禍で保護者参加の行事や人数制限、Zoomでの保護者会等初めての経験が重なりましたが、保護者様も園の現状にご理解いただきとても協力的で感謝しかありません。この三年間保護者様と一緒に乗り越えてきたと実感しています。前回課題であった地域交流に関しては、秘密基地作りを通して地域の大工さんにご協力いただくことができ一つ前進できたかなと思っています。引き続き地域の方が気軽に参加できる内容を発信して、地域交流を深めていきたいと思えます。評価機関、評価調査者にはいつも丁寧にご対応いただき感謝しております。良いところはさらに延びるように、不足しているところは具体的にアドバイスをいただき本当にありがとうございます。毎回園の思いに寄り添っていただき温かさを感じています。今回も本当にありがとうございました。

グローバルキッズ日吉園 園長 金子 由理

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり